

事務事業チェックシート

事務事業No **11276** 事業名 **和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約システム事**

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	2	芸術・文化活動環境の整備充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	和歌の浦アート・キューブ費		
	大事業	和歌の浦アート・キューブ事業		
中事業	和歌の浦アート・キューブ管理運営事業（予約シス			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌の浦アート・キューブ条例、同条例施行規則		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	和歌の浦アート・キューブの施設予約システムの運用	

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	138	120	138	120	138	120	134	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	0%	0%	0%	0%	△2.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	2,017	2,095	1,713	1,635	1,650	1,650	1,650	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	2,017	2,095	1,713	1,635	1,650	1,650	1,650	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	138	120	138	120	138	120	134	0	0	0
所要人数 (人)	正規職員	0.26	0.27	0.22	0.21	0.21	0.21	0.00	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	機械等借上げ料 138千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
施設予約システム整備		件	目標値	1	1	1	1	
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	%	%	
システムによる予約件数		%	目標値	900	900	900	900	
			実績値	808	887	859		
			達成度(%)	89.8%	98.6%	%	%	
予約件数(全体)		件	目標値	3200	3200	3200	3200	
			実績値	2643	2976	2629		
			達成度(%)	82.6%	93%	%	%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	すみやかなパソコンやモバイル端末からの予約を可能とし、利便性が向上する。
見直し・改善内容	利用者にとって利便性が向上するような予約システムを構築するよう努める。